

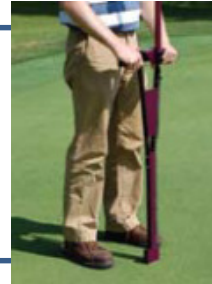
ウェブマッピング




証明された領域測定技術に基づいて、TDR-300はあらゆる土壌水分の状況を正確に測ります。測量データとGPS情報を読み込むことにより、TDR-300はインターネット上で分析された測量データをマッピングし、自動的に測量結果のマップを作成する事が出来ます。

Step 1 — 測定

TDR-300とGPSを接続して、データ・ポイントを集め始めて下さい。
4-5歩間隔で境界線に沿って測定します。
境界線を測定後、内側の測定を行い、最後にスプリンクラー位置を測定します。



Step 2 — データ処理

TDR-300はデータポートを通して直接PCにつながります。
FieldScoutソフトウェアによって、収集したデータをダウンロードする事が出来ます。



SpecMapsはウェブ上のソフトウェアになっており、TDR300で測量した土壌水分を二次元の色地図にアップロード出来ます。

土壌水分の少ないエリア、多いエリアを一目で分かる色地図で表示します。

又、測量したデータの統計情報も表示します。各測量点の棒グラフ、DU値の自動計算・・・

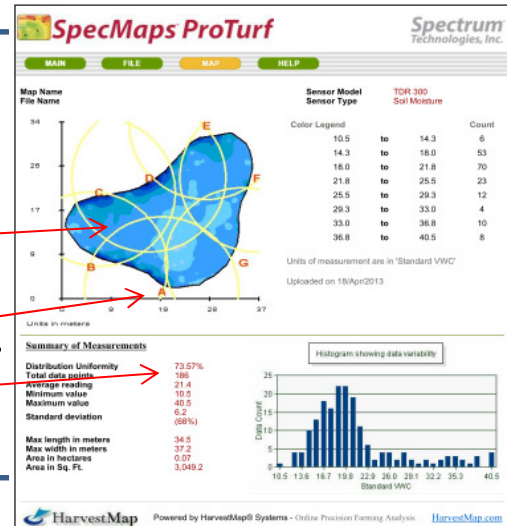
Step 3 — 結果の分析

SpecMapsウェブサイトにログインして下さい。
測量したデータファイルをアップロードし、分かり易い名前を決めます。

データポイントを点にするか、二次元の等高線地図で作成が可能。

スプリンクラー位置も測量可能。半径も入力出来るので適正位置かの判断も可能。

自動的にDULQ値を計算。




株式会社 荒田商会

〒132-0022 東京都江戸川区大杉5-26-5
TEL:03-5879-4347 FAX:03-5879-4348

この新しいプロセスは、迅速、簡単、且つ正確に設計されています。面倒なセットアップの必要は無く、すぐに結果を見る事が可能です。その場でもルートゾーン水分情報を見れるのですぐに答えを得る事が出来ます。降水量調査を必要とせず、芝生の灌漑プロファイルの全体像を見る事が出来ます。